

| | | | | | | | | | | |
|-------------|--|-------|--------|--|------|---|------|---|------|---|
| 基本方針 4 | 県民の自主的、自発的な活動を支援し、学習機会の提供、学習成果の活用に努める。 | | | | | | | | | |
| 重点目標 4 | 県民との協働による学習機会提供と学習成果活用の推進 | | | | | | | | | |
| 重点取組 | ボランティア等の活動機会の拡充、活動支援による多様な読書活動の推進 | | | | | | | | | |
| 評価指標 | 「子供読書に関わるボランティア」・「視覚障害者等サービスに関わる図書館協力者」対象研修受講者数 | | | | | | | | | |
| | 27年度末 | 28年度末 | 29年度末 | 30年度末 | | | | | | |
| 目標値 | — | 760人 | 820人 | 820人 | | | | | | |
| 実績値 | 747人 | 678人 | 1,019人 | 1,013人 | | | | | | |
| 重点取組の評価 | <p>「子供読書に関わるボランティア」・「視覚障害者等サービスに関わる図書館協力者」対象研修受講者数は1,013人で、目標値の124%という結果となった。内訳は、おはなしボランティア指導者研修会102人、おはなしボランティア講師派遣事業講座参加者338人、こども読書活動交流集会356人、学校図書館講座・布絵本講座49人、音訳者・デージー編集者研修会168人であった。こども読書活動交流集会参加者が多かったことが、高めの実績値につながった。</p> | | | <table border="1"> <tr> <td>28年度</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>4：目標に達している 3：目標の80%に達している 2：目標に至っていないが、一定の進捗が見られる 1：目標達成に向けた進捗が見られない</p> | 28年度 | 3 | 29年度 | 4 | 30年度 | 4 |
| 28年度 | 3 | | | | | | | | | |
| 29年度 | 4 | | | | | | | | | |
| 30年度 | 4 | | | | | | | | | |
| 行動計画実施状況・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 高度な知識技能を有した音訳者の育成 <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度(初級)・28年度(中級)の養成講座を受講した新規音訳者21人を含めた63人対象に、フォローアップ研修を9回実施した。(参加者168人) 発達障害等多様な障害を持つ方々に対応できるマルチメディアデージー制作体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> マルチメディアデージー編集者の打ち合わせを1回行い、製作マニュアルを修正した。 マルチメディアデージーは10タイトル(絵本6タイトル、児童書4タイトル)制作した。 「子供読書に関わるボランティア」団体に向けた講師の新規養成と研修機会の確保 <ul style="list-style-type: none"> おはなしボランティア指導者研修会を3回開催した。(参加者102人) 県内公立図書館との連携による県内各地での「子供読書に関わるボランティア」活動支援の検討 <ul style="list-style-type: none"> 県内各地で「読み聞かせボランティア団体のための講師派遣」を21団体24講座(参加者338人)実施した。 こども読書活動交流集会では「学校図書館講座」、「わらべうた講座」、「読み聞かせ講座」のほか、初めての試みで「こどもの本のひろば」として、おすすめ本の展示やおはなし会を行い、大勢の方に参加していただいた。(参加者356人) | | | | | | | | | |

【重点目標 4 重点取組評価シート】

平成30年度末

| | | | |
|-------------------------------|---|----------------|----------------|
| 総合評価 (平成28年度～平成30年度 成果・課題) | <p>「音訳者養成講座」を27・28年度に、「おはなしボランティア指導者養成講座」を28年度に開催し、障害者サービスに関わる図書館協力者と子供読書に関わるボランティアを養成し、県民との協働による学習機会と活動機会の提供につながった。また、この2つの養成講座により、安定した図書館サービスを行うために必要な人材を確保できた。</p> <p>そして、障害者の読書の可能性を広げる資料となるマルチメディアデジターの製作に取り組み、マニュアルを整備したことは、多様な読書活動の推進につながった。</p> <p>この3年間で「子供読書に関わるボランティア」・「視覚障害者等サービスに関わる図書館協力者」対象研修受講者数は合計延べ2,710人となり、目標値の3年合計の2,400人を上回り、一定の成果を上げたといえる。満足度も3年間を通じて高い値を得られている。</p> <p>今後は各々フォローアップ研修会を継続して行い、学習機会と活動機会を提供するとともに、その他のボランティアの活動についても検討していく必要がある。</p> | | |
| | 参考指標 (事業統計) | 28年度末 | 29年度末 |
| 指標 1 | 障害者サービス用資料製作点数 | | |
| 実績値 | 77点 | 49点 | 58点 |
| 指標 2 | 子ども読書支援センター相談受付数 | | |
| 実績値 | 250件 | 158件 | 165件 |
| 指標 3 | 県立図書館主催該当研修実施回数 | | |
| 実績値 | 54回 (内45回は2つの養成講座) | 7回 | 8回 |
| 参考指標 (満足度) | 各研修会終了時アンケート | | |
| 実績値 | 97%が「満足」「ほぼ満足」 | 97%が「満足」「ほぼ満足」 | 97%が「満足」「ほぼ満足」 |

参考 (丸囲み数字は行動計画 No.)

| 重点取組に対応する行動計画 | ○: 計画 ●: 実施 →: 継続 | H28 | H29 | H30 |
|--|-------------------|-----|-------------|-----|
| ㉓【高度な知識技能を有した音訳者の育成】 ・平成27年度新規「音訳者(旧名称朗読者)養成講座」を受け、同修了者を対象に平成28年度中級研修を実施する。 | | ○● | ● (研修継続) | → |
| ㉔【発達障害等多様な障害を持つ方々に対応できるマルチメディアデジター製作体制の確立】 ・マルチメディアデジターについて、県立図書館での環境整備を行い、製作体制の充実を図る。 | | ○● | ● | → |
| ㉕【「子供読書に関わるボランティア」団体に向けた講師の新規養成】 ・県内全域からの派遣要望と継続的な活動に対応するため、養成講座を計画実施し、講師の確保に努める。 | | ○● | ● (派遣) | → |
| ㉖【「子供読書に関わるボランティア」団体に向けた講師の研修機会の確保】 ・「子供読書に関わるボランティア」講師の研修機会を継続的に設けブラッシュアップを図るとともに、第1期～第3期養成の講師及び新規養成の講師間交流を図る。 | | ○● | ● | → |
| ㉗【県内公立図書館との連携による県内各地での「子供読書に関わるボランティア」活動支援の検討】 ・子ども読書支援センターの講師派遣事業を継続するとともに、県内公立図書館と連携協力した「子供読書に関わるボランティア」支援を検討する。 | | ○ | ○● | → |